

# 大阪医科大学三島南病院

## ボツリヌス療法のお知らせ

三島南病院では通院のボツリヌス療法に加え、

入院のボツリヌス療法も実施しています

### ボツリヌス療法とは

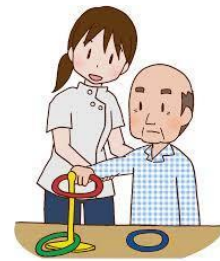
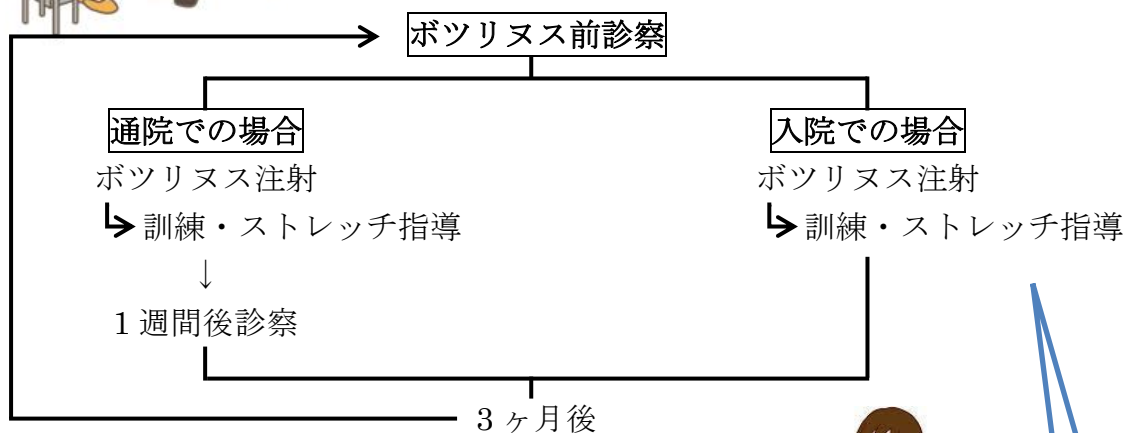
筋肉を緊張させている神経の働きを抑えるボツリヌストキシンという薬を注射することにより筋肉の緊張を和らげる治療です。



### 前診察



リハビリテーション科医・理学療法士・作業療法士が、患者様の日常生活上で困っていること、関節・筋肉の硬さの具合、座る・立つ姿勢、歩く姿をチェックし、どの筋肉に注射が必要なのか、どういう訓練が必要であるのかを確認します。



### 入院中の治療

- ・毎日、理学療法や作業療法を行ないます。
- ・通院では難しかった装具や介護サービスの見直しなどを行ないます。
- ・退院後のストレッチ方法の指導を行ない筋肉・関節が硬くならないように予防します。

問い合わせ 大阪医科大学三島南病院

地域医療連携室 (TEL : 072-677-1337)

筋肉を軟らかくする

## ボツリヌス（ボトックス）療法とは？

大阪医科大学附属病院

リハビリテーション科

富岡 正雄

手足がつっぱって困っておられませんか？

脳卒中のあと、数か月ほどたつと、だんだんと手足の筋肉が固くなってきます。そのため、関節に痛みが出たり、リハビリテーションが難しくなったり、装具が履きづらくなったり、着替えるときに痛みがあつてご家族の負担になったりします。そこで固くなった筋肉にボツリヌストキシンという薬を注射することにより、筋肉を軟らかくする治療方法が、平成22年から保険適応となり当院でも平成30年から行っていますので紹介します。ボツリヌストキシンは、ボツリヌス菌が作り出す天然のたんぱく質で、一度注射をすると、3日目くらいから効果が現われ、3か月くらい持続しますので、注射は3-4か月に1回行います。ボツリヌス菌そのものを注射するわけではありませんので、ボツリヌスに感染することはありません。当院では、医師と理学療法士、作業療法士が患者さまの状態を観察しながら、日常生活での痛みを減らし、リハビリテーションをしやすくするためには、どの筋肉をどの程度軟らかくするのがいいか、など話し合いながら、ボツリヌス療法を行っています。注射時間はおよそ30分で、引き続きリハビリテーションを行い、筋肉を和らげ、日常生活での注意事項などを説明いたします。くび、肩、肘、手、膝などの痛みや突っ張り、装具が合わない、介護の際に固くて困っているような方は、是非当院のリハビリテーション科にご相談ください。



ボトックス治療チーム(リハビリテーション科)



富岡 正雄

リハビリテーション科専門医  
整形外科専門医・救急科専門医  
ボツリヌス療法を専門とする。